

V. 特記事項

1. 教育懇談会

本学では、2009（平成 21）年度より、毎年 6 月下旬の土曜日に保護者を対象とした「教育懇談会」を開催している。日頃、学生がどのような大学生活を送っているか、成績の状況、授業への出席状況、就職（進路先）についてなど、保護者の方に本学と学生本人の現状を理解・把握していただくことを目的としており、参加した保護者からは、「子どもの大学での様子が把握できた」、「就職についての不安が解消された」等、概ね好評を得ている。2019 年度までは、教育方針等の説明を中心とする全体会と個別面談（複数の教員＋保護者、または複数の教員＋保護者＋学生）の 2 部制をとっていたが、年々面談を希望する保護者が増加していることから、2022 年度は個別面談のみの開催とした。なお、2020～2021 年度はコロナ禍のため、開催を見送った。2022 年度教育懇談会の実績を以下に記す。

学部・学科	申込者数	出席者数
音楽学部	25 名	25 名
人文学部	32 名	30 名
人間発達学部子ども発達学科	6 名	6 名
人間発達学部発達栄養学科	29 名	26 名

2. 教育改革事業経費

本学では、「教育改革経費」として、教育改革に特化した予算措置を講じている。これは 2011（平成 23）年度から措置している経費で、教育推進本部がその管理・運営にあっている。経費の対象は、

- (1) 文部科学省が実施する支援プログラム等に関する事業
- (2) 本学が全学もしくは各部局等で実施する教育改革に関する特色ある事業
- (3) その他、教育推進本部が必要と認めた事業

と定め、「将来構想」や「私立大学等改革総合支援事業」に係る整備等に関する取組みを考慮して選定し、3 年以内の財政的支援を行うものである。事業内容に対し点検・評価を行い、効果があると判断された事業については、必要に応じて経常的な予算に組み込み、教育改革の継続を図ることとしている。毎年度、継続事業を含め 5～6 件を選定しており、これまでに特に成果が認められた取組みを以下に記す。

取組名称	取組部局
ポータルサイトの活用による授業の出欠管理	教務委員会
ポータルサイト活用による学修支援体制の基盤構築	情報システム運用委員会
主体的学修のための SA（スチューデント・アシスタント）試験的導入	教務委員会
相愛大学のグローバル教育改革	英語関連科目担当教員

参照：相愛大学ホームページ 教育改革事業について

https://www.soai.ac.jp/education/educational_project.html